

組み込みのコレクション

配列：PowerShell 独自

ハッシュ：System.Collections.Hashtable

また、.NET Framework クラスライブラリの System.Collections 名前空間を New-Object コマンドレットで利用できる。

配列

カンマ演算子を使う。

```
> $array1 = 1,2,3,"a","b",4
```

@() 記法による明示的な配列の作成。

```
> $array2 = @(1, "a", (Get-Date))
```

@() の中に値をカンマ区切り、またはセミコロン区切りで指定して作成する。

@() を使うと、空配列も作成できる。

これは、「配列の部分式演算子」というらしい。

上記の通り、配列は異なる型の値を格納できる。

レンジ配列

範囲演算子 .. を使う。

```
> 1..10
```

これは値が 1 から 10 まで 10 個の要素を持つ配列。

-contains 演算子

配列に含まれる値をチェックできる。

```
> $array1 -contains 1
True
> $array1 -contains "x"
False
```

ハッシュ（連想配列）

```
> $hash = @{"a"=1; "b"=2; 1="c"}
> $hash["a"]
1
> Get-Member -i $hash
```

@{} の中にセミコロンで区切って、< キー >=< 値 > というペアを記述して作成する。

他のいかなるハッシュと同じく、キーが一意でありさえすればよい。